

## 令和6年度（所属名）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上【必須事項】	勤務時間外や職場外においても教育公務員として自覚し、社会人としての公衆マナーやモラルを踏まえた言動をとる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新採用や非常勤講師を対象とした研修を行った。</li> <li>・担当グループが講師となって研修会を開き、ディスカッション形式により職員間で意見交換を行うことを通して、自分事としてコンプライアンス意識の定着を図った。</li> <li>・職員啓発資料の活用、管理職による注意喚起を実施した。</li> </ul>
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止【必須事項】	人権意識を磨き、良好な職場環境の維持・確保に努め、誰もが安心して勤務できる働きやすい環境づくりをめざす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当グループによる研修会では、いくつかのケースを実演し、それぞれの場面について適切な対応を協議した。実際の場面の想定により一層の現実味が増し実効力のある研修となった。</li> <li>・職員との面談、職場環境改善アンケートの実施により安心安全な環境確保に努めた。</li> </ul>
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止【必須事項】	スマートフォン等の不適切な使用を未然に防止するとともに、スクールセクハラ根絶に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害や性的マイノリティに関わる研修会を実施し、啓発、共通理解に努めた識啓発を行った。</li> <li>・電子メール、SNSの適切な使用について職員間だけでなく、生徒に対しても意識啓発を行った。</li> </ul>
体罰、不適切な指導の防止【必須事項】	生徒の人権を尊重し、真摯な態度で丁寧な指導に当たる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員啓発資料等を参考にし、生徒の人権侵害に関わる不祥事防止を周知するとともに職員の意識の向上を図った。</li> <li>・「校内人権窓口」の生徒への周知をはじめ生徒が相談しやすい体制づくりを意識し生徒理解に基づく指導を徹底した。</li> </ul>
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止【必須事項】	前期および後期の入学者選抜における事故・不祥事を防止する。様々な業務執行に際して、職員の当事者意識を高め、システムの適正化を図り、事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット出願システム導入2年目となり、点検体制や入試業務マニュアルの再点検、再確認を行い、職員全体で新業務や新体制に関する理解を深め事故防止を徹底した。</li> <li>・推薦業務では書類読取りや選考資料作成に注力し事故防止に努めた。調査書作成、発行は作成マニュアルに基づき、各段階での複数人による点検を徹底し事故防止に努めた。</li> </ul>
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報等を適正に管理し、情報の漏洩や流出を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報担当者による職員研修を行い、個人情報を含む電子データや文書の扱い、暗号化サーバーや鍵のかかるロッカー等への保管、校外持ち出し許可申請の徹底など確認し、個人情報の漏洩、滅失の防止を図った。</li> <li>・事故防止研修や日常的な点検やチェックを行い職員の意識向上を図り事故防止につなげた。</li> </ul>
会計事務等の適正執行	私費会計の適切な執行により、事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計監査、財務調査などの機会をとらえ、よくある指摘事項や私費会計基準に則った私費の執行方法に関する研修会を実施した。日常的な声掛けと点検により私費会計の適正執行を徹底した。</li> <li>・合宿や部活動費等の各私費会計は、出納簿で適切な執行を適宜確認し事故を防止した。</li> </ul>

## ○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題

令和6年度の本校の達成状況は、特に重大な事故不祥事もなく良好であったと考えている。本年度も不祥事防止研修等を通じて不祥事ゼロに向けた指導を徹底させた。各自自己点検すること、また気にかかることは速やかに報告することを徹底し、プログラムの各課題の目標を達成することができた。各課題についての研修会担当を各グループに任せたことにより、それぞれの担当が研修内容にも工夫を凝らし、より実効性のあるものとなった。こうした研修を定期的を実施することにより、職員は自分事としてとらえながら知識理解を深め、風通しの良い職場環境を目指している。

令和7年度も生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止、会計事務等の適正執行、個人情報の管理を重点課題として、不祥事防止研修等で職員の事故防止意識の啓発を行い、日常の指導助言を通じて当事者意識を高めさせていきたい。

(学校長意見)